

県スポ だより NAGANO

スポーツくじ



県スポだよりはスポーツ振興くじの助成を受けて発行しています。



私たちは、「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。



スポーツ安全保険

第79回 国民スポーツ大会 冬季大会



10年連続
24度目

冬季競技
終了時点

男女総合(天皇杯)2位
女子総合(皇后杯)1位

スケート競技会
アイスホッケー競技会
スキー競技会

男女総合 2位
女子総合 1位
総合 6位
男女総合 2位
女子総合 3位



クロスカントリー
女子20kmリレー 3連覇

がんばれ!
アイスホッケー
成年男子 3年連続3位

CONTENTS

- ・第79回国民スポーツ大会冬季大会 2~7
 - スケート競技会・アイスホッケー競技会
 - 優勝者コメント、入賞者・競技成績
 - スキー競技会
 - 大会概要及び本部役員、長野県選手団名簿
 - 入賞者・競技成績
 - 冬季大会総合成績
- ・信州やまなみ国スポ・全障スポニュース 7
- ・会議報告 8
 - 第3回総務専門委員会・第3回理事会 他
- ・SWANプロジェクト 9
 - SWAN2024-2025主な成績
- ・スポーツ少年団 9
 - 長野県スポーツ少年団ジュニア・リーダーズスクール
- ・令和6年度日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰 ... 9
- ・加盟団体の紹介 10
 - 飯水スポーツ協会

令和7年(2025年)
3月31日発行

第315号

第79回国民スポーツ大会冬季大会

スケート競技会・アイスホッケー競技会

1月26日(日)～2月5日(水)に、岡山県岡山市・倉敷市及び群馬県渋川市で、スケート競技会及びアイスホッケー競技会が開催されました。本県からは、林泰章団長(長野県スケート連盟名誉会長)、中村慎副団長(長野県アイスホッケー連盟会長)以下、選手・監督等122名が参加しました。

スケート競技会では、スピードスケート競技6種目、ショートトラック競技1種目で優勝し、入賞者は優勝を含め延べ33となり、男女総合が2位、女子総合は10年連続24度目の優勝という結果でした。

また、アイスホッケー競技会では、成年男子が3年連続で3位となりました。



優勝者コメント

スピード

少年男子5000m

雨宮 伊吹 (市立長野高校3年)



伊香保国スポ2025において、スピードスケート少年男子5000mで優勝しました。今シーズンは、高校最後の年ということもあり、夏場から例年より一層、気持ちを強く持ちトレーニングに取り組みました。特に、長野県国スポ強化合宿では、同年代の選手と合同でトレーニングを行うことで、体力面や技術面を互いに高め合うことができました。

昨年の国スポでは、5000mで転倒し、10位という悔しい結果に終わりました。今大会は、昨年よりも成長した姿を見せたい、という気持ちでレースに臨みました。序盤から先頭争いが激しく、スピードの速い展開でしたが、周りの方々のサポートや長野県関係者の方々の熱い応援に背中を押され、最後まで諦めずにゴールすることができました。応援ありがとうございました。一方で10000mでは、5位という結果でした。昨年の国スポでは、この種目で優勝していたのでとても悔しいです。レースの状況を把握して、すぐに判断する力が足りなかったところが今後の課題です。

来年からは、大学に進学し競技を継続

します。入学後は、先輩方の技術力や精神力から多くを学び、心身共に成長したいです。成年の長野県代表として、国スポで活躍できる人材になることを目標にトレーニングに励みたいです。

スピード

少年男子10000m

山中 壇 (市立長野高校2年)



第79回冬季国スポ伊香保大会、スピードスケート男子10000mで優勝をすることができました。

昨年はショートトラックで国スポに出場させて頂きましたが、長野県の皆様の期待を裏切ってしまう不甲斐ない結果に終わってしまいました。競技は違いますが、昨年の悔しさを払拭し、微力ながら長野県に貢献できたことを嬉しく思います。

今シーズンは、夏に青森県で行われた県の高校生合同合宿から自分の成長を実感しており、特に長距離でのスケートインングを最後まで安定させることを中心に力を入れてきました。しかし、直前の全日本ジュニア、インターハイでは思い描いていたような結果を出すことができず、とても悔しい思いをしました。また10000mという種目は経験をしたことがなく、今回の国スポが初出場でした。

不安が残る状況でしたが、それにも関わらず滑りきることができたのは、リンクサイドでレースの指示を送ってくださった先生方、そして仲間や長野県の応援団の方々からの熱い声援があったおかげだと感じております。

シーズンを通して練習、大会を行える環境を整えてくださった全ての方々に恩返しをできるように、これからも尽力していきたいと思っています。

改めて応援ありがとうございました。

スピード

少年女子1000m

村山 夏愛 (都市大塩尻高校1年)



この度、伊香保国スポ2025スピードスケート少年女子1000mで優勝しました。私自身今回の国スポが初出場というの

もあり、慣れない環境下での今大会は刺激的なものばかりでした。2、3日目に行われた500mやリレーでは悔しい結果となり、シングルレースの難しさを身をもって痛感していました。

レース当日は、長野県選手団の一員として「少しでも自分が貢献できれば」という思いで挑み、最後まで粘り強く滑りました。この結果を飾ることができたのは、協力した仲間、そして長野県関係者

の応援、サポートがあったからだと思います。

これからも応援、サポートをしてくださる方々への感謝を忘れず、今大会を通して、自分自身が感じたことや、学んだことを、これからの競技に活かしていきたいと思います。そして、来シーズンは更に成長した滑りを見せれるように、練習に励んでいきたいと思っています。

応援ありがとうございました。

スピード

少年女子1500m・3000m

野明 芽衣 (諏訪清陵高校2年)



第79回冬季国ス泊伊香保大会スピードスケート少年女子1500m、3000mで優勝することが出来ました。二種目優勝という結果に自分でも驚いています。

昨年は個人種目の出場はなく、国ス泊での個人種目出場を今年度の目標のひとつとして夏から練習を積んでいたため、その目標を達成でき、さらにこのような結果を残すことが出来たことを嬉しく思います。

今シーズンは、昨年に比べ氷上練習の際に列の先頭に出る回数を増やしたことで、自分のペース、リズムを作ることができるようになりました。このことは今大会の3000mで最初に先頭にでた際に、後半への体力を残したまま責任先頭を完了することができたということに繋がったと感じます。

今大会は、個人種目初出場でレース直前まで不安や緊張を感じていましたがそんな中、このような結果を残すことが

できたのは、二種目とも共に出場し、戦ってくれた三井選手、リンクサイドからの確かな指示を送ってくださった監督方、また応援してくださった長野県選手団の選手や応援団のみなさまのおかげだと感じています。

シーズンを通して支えてくださった全ての方に感謝し、これからも精一杯努力していきます。改めて、温かいご声援をありがとうございました。

スピード

スピード成年男子2000mリレー

伊藤 誠悟 (長野県競技力向上対策本部)
(代表コメント)

成年男子2000mリレーで優勝でき、本当に嬉しく思います。今回の国民スポーツ大会では、1500mの2連覇を目指していましたが、初日の予選で失格となり敗退してしまいました。さらに、次の日に行われた1000mの予選でも敗退し、個人種目では自分の実力不足を痛感しました。想定外の2種目予選敗退で、気持ちは大きく落ち込みました。そんな時、長野県の応援団の方々の励みや、宿舎に戻った際のメンバーの支えにより、気持ちを前向きに切り替えることができました。そして、リレーは絶対に優勝するという強い決意を持つことができました。

人生で初めて決勝のアンカーを任されるという重圧を感じながらも、「いつも通り滑れば負けない」という自信を持って挑みました。決勝がスタートすると、長野県が先頭に立ち、バトンパスも他の県より速く、確実に繋いでいきました。仲間の団結力を肌で感じ、後続との差をつけてもらった状態でバトンを受け取り、そのリードのおかげでなんとか逃げ切る

ことができました。

今回の大会を通して、個人の力だけでなく団結力も重要であることを再認識しました。この体験は、今後の国民スポーツ大会に大いに活きてと思います。

今後とも、温かい応援をどうぞよろしくお願いいたします。

ショートトラック

少年女子500m

仲野 六花 (小海高校2年)



岡山国ス泊2025

ショートトラック

競技において少年

女子500mで優勝

することができ

ました。私は、今

回初めて長野県選

手団として参加させていただきましたが、選手団の皆様にも温かく迎えて頂きました。この優勝という結果はたくさんの方々のご支援の賜物だと思います。

今シーズンは、コーチのご指導や家族のサポートもあって、夏場にたくさん量をこなしたり、食事の管理を徹底したりといったフィジカル面の強化に努めてきました。練習では最高ラップを大幅に更新することができ、自信を持ってレースに臨むことができました。

前日の1000mではレース中盤で一気に加速し順位をあげることが出来たものの、一瞬の躊躇により順位を先頭まで上げ切ることが出来ず3位に終わってしまいました。500mでは同じ失敗をしないよう、「スタートから思い切って滑る」という一心で挑みました。決勝では転倒による再レースなど、不安と緊張の入り混じる状況でしたが優勝できたのは、家族やコーチ、そして長野県の声援のおかげだと感じています。

今回の優勝は、自分一人の力だけではなく、関わってくださったすべての方々の支えがあってこそ実現できたものです。また、家族や友人たちからの励みが常に心の支えとなり、最後まで諦めずに戦い抜くことができました。

今後は、この優勝を新たなスタート地点とし、さらに成長を続けていきたいと考えています。次なる大会に向けても、今回の経験を生かし、より一層努力していきます。

改めて応援ありがとうございました。



スピード 成年男子2000mリレー

(左から) 伊藤 誠悟 選手 (長野県競技力向上対策本部)
山中 大地 選手 (㈱電算)
高見澤匠 選手 (専修大学3年)
原 真尋 選手 (㈱エクスエ)
松田 臣二 選手 (高崎健康福祉大学3年)
三井 晃太 選手 (専修大学4年)

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の成績

1 大会の概要

開 催 地		開催期間	派遣選手団	大 会 成 績			
				男女総合		女子総合	
スケート	群馬県 渋川市	R7.1.26 ～2.5	111名	獲得点	順位	獲得点	順位
アイスホッケー	岡山県 岡山市 倉敷市			230.0 (参加点20点)	2位	124.0 (参加点10点)	1位
前 回 大 会			94名	239.0	2位	96.0	1位

2 スケート競技会の成績

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
男女総合	県名	北海道	長野	兵庫	群馬	愛知	東京	山梨	滋賀
	得点	192.0	190.0	174.0	148.0	103.0	102.0		82.0
	前回大会	長野	北海道	愛知	兵庫	山形	群馬	東京	埼玉
女子総合	県名	長野	北海道	兵庫	愛知	山梨	東京	京都	神奈川
	得点	124.0	100.0	98.0	67.0	53.0	51.0	49.0	46.0
	前回大会	長野	北海道	兵庫	山形	愛知	青森	東京	福岡
	得点	96.0	94.0	86.0	80.0	64.0	56.0	55.0	50.0

3 アイスホッケー競技会の成績

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
総	県名	青森	東京	大阪	北海道	神奈川	長野	埼玉	滋賀
	得点	65.0	60.0		50.0	45.0	40.0		30.0
	前回大会	北海道	東京	埼玉	青森	長野	栃木	大阪	神奈川
合	得点	90.0	70.0	60.0	55.0		40.0		30.0

4 総合成績（スケート・アイスホッケー競技会終了時点）

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
男女総合	県名	北海道	長野	兵庫	東京	群馬	愛知	埼玉	滋賀
	得点	242.0	230.0	184.0	162.0	158.0	123.0		112.0
	前回大会	北海道	長野	東京	愛知	兵庫	埼玉	青森	山形
女子総合	県名	長野	北海道	兵庫	愛知	山梨	東京	京都	神奈川
	得点	124.0	100.0	98.0	67.0	53.0	51.0	49.0	46.0
	前回大会	長野	北海道	兵庫	山形	愛知	青森	東京	福岡
	得点	96.0	94.0	86.0	80.0	64.0	56.0	55.0	50.0

5 総合成績の推移

	男女総合(天皇杯)			女子総合(皇后杯)		
	獲得点	順位		獲得点	順位	
79回大会	230.0	2位		124.0	1位	
78回大会	239.0	2位		96.0	1位	
特別大会	202.0	2位		101.0	1位	
77回大会	264.0	1位		111.0	1位	
76回大会	205.0	2位		104.0	1位	

6 入賞者数の推移 [下段は少年の部で内数]

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	計
79回大会	7	8	5	3	3	4	2	1	33
	6	5	1	1	2	2	1	0	18
78回大会	4	8	6	6	5	3	6	0	38
	1	4	4	4	2	3	4	0	22
特別大会	5	5	3	5	5	5	1	3	32
	5	5	2	2	2	3	0	1	20
77回大会	13	10	4	3	5	2	2	1	40
	12	4	3	1	1	1	1	0	23
76回大会	5	6	5	6	8	2	2	1	35
	2	6	2	4	4	2	0	0	20

7 成績の推移

	スケート男女総合		スケート女子総合		アイスホッケー	
	獲得点	順位	獲得点	順位	獲得点	順位
79回大会	190.0	2位	124.0	1位	40.0	6位
78回大会	199.0	1位	96.0	1位	40.0	5位
特別大会	162.0	2位	101.0	1位	40.0	5位
77回大会	254.0	1位	111.0	1位	10.0	11位
76回大会	195.0	2位	104.0	1位	10.0	12位

8 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会の入賞者

順位	種 別	種 目	氏 名	所 属	記 録	獲得点	
1位	少年男子	スピード	10000m	山中 壇	市立長野高校2年	17:25.17	8.0
	少年女子	ショート	500m	仲野 六花	小海高校2年	46.988	8.0
	少年女子	スピード	1500m	野明 芽衣	諏訪清陵高校2年	2:04.82	8.0
	少年女子	スピード	1000m	村山 夏愛	東京都市大学塩尻高校1年	1:21.12	8.0
	少年女子	スピード	3000m	野明 芽衣	諏訪清陵高校2年	4:25.34	8.0
	少年男子	スピード	5000m	雨宮 伊吹	市立長野高校3年	6:42.99	8.0
	成年男子	スピード	2000m リレー	山中 大地	㈱電算	2:24.28	8.0
				高見澤匠牙	専修大学3年		
				原 真尋	㈱エクシエ		
				伊藤 誠悟	長野県競技力向上対策本部		
2位	少年女子	スピード	500m	村山 夏愛	東京都市大学塩尻高校1年	41.34	7.0
	少年女子	スピード	1500m	三井こころ	東京都市大学塩尻高校1年	2:07.25	7.0
	少年女子	スピード	1000m	西尾 友里	JSFアカデミー1年	1:23.74	7.0
	成年女子	スピード	1000m	北原 伊織	大東文化大学2年	1:24.88	7.0
	少年女子	スピード	3000m	三井こころ	東京都市大学塩尻高校1年	4:25.77	7.0
	成年女子	スピード	3000m	宮川 鈴佳	日本体育大学4年	4:19.25	7.0
	成年女子	スピード	2000m リレー	北原 伊織	大東文化大学2年	2:40.99	7.0
				清水 叶華	高崎健康福祉大学3年		
				両角ほのか	㈱ナショナルツール		
				林 ひよな	大東文化大学1年		
	少年男子	スピード	2000m リレー	武舎 亮佑	佐久長聖高校2年	2:34.01	7.0
				高見澤雅流	佐久長聖高校2年		
平林 龍友				岡谷南高校3年			
武田 來侍				下諏訪向陽高校3年			
3位	成年女子	スピード	500m	北原 伊織	大東文化大学2年	40.83	6.0
	少年女子	ショート	1000m	仲野 六花	小海高校2年	1:35.871	6.0
	成年女子	スピード	1000m	宮川 笑佳	日本体育大学1年	(1:19.53)	6.0
	成年女子	スピード	3000m	畠山 雪菜	高崎健康福祉大学2年	4:20.81	6.0
	成年男子	アイスホッケー		長野県選抜			30.0
4位	成年女子	ショート	1000m	宮下 心夢	山梨学院大学1年	1:36.937	5.0
	少年男子	スピード	5000m	山中 壇	市立長野高校2年	6:50.18	5.0
	成年男子	スピード	5000m	菊原 颯	明治大学2年	7:04.10	5.0
5位	少年男子	スピード	10000m	雨宮 伊吹	市立長野高校3年	(17:04.41)	4.0
	少年女子	ショート	500m	吉澤 葵	地球環境高校3年	46.612	4.0
	成年男子	スピード	1500m	三井 晃太	専修大学4年	(1:48.91)	4.0
6位	成年男子	ショート	5000m リレー	菊池 耕太	社会医療法人 恵仁会	7:39.404	3.0
				吉澤 柊威	大東文化大学3年		
				菊池 仁貴	大東文化大学1年		
				酒井 応太	日本大学3年		
	少年男子	スピード	1500m	山崎 凌駕	佐久長聖高校3年	(1:55.94)	3.0
				武田 來侍	下諏訪向陽高校3年	(1:15.82)	3.0
				三井 晃太	専修大学4年	(6:41.45)	3.0
7位	少年男子	スピード	500m	佐藤 来輝	市立長野高校1年	48.18	2.0
	成年男子	ショート	1000m	菊池 耕太	社会医療法人 恵仁会	1:40.550	2.0
8位	成年男子	スピード	1000m	山中 大地	㈱電算	(1:13.00)	1.0

※ () 内の記録は、スピード競技において責任先頭制の回数を完了していないため、参考記録として記載

スキー 競技会

2月13日(木)～16日(日)に、秋田県鹿角市でスキー競技会が開催され、本県からは高橋信夫団長(長野県スキー連盟副会長)以下、選手・監督・役員106名が参加しました。

開始式では、ジャイアントスラローム成年男子Cの小林晋之介選手(ゼロワンレーシング)が旗手を務めました。

スキー競技会では、女子20kmリレーで3連覇を果たすなど5種目で優勝し、入賞者は優勝を含め延べ30となり、男女総合は2位、女子総合は3位となりました。

I 大会概要及び本部役員

- 1 会 期 2025年2月13日(木)～16日(日)〔4日間〕
2 会 場 地 秋田県鹿角市
3 日程と会場 ◎開始式・表彰式 ○競技日 ◇公式練習日 ◆予備ラウンド ●種目別表彰式

会場地	式典・競技	2025年2月				会 場
		13日	14日	15日	16日	
鹿角市		木	金	土	日	
	開 始 式	◎				鹿角市文化の杜交流館コモッセ
	表 彰 式				◎	鹿角トレーニングセンターアルバス(アリーナ)
	ジャイアントスラローム		○	○	○	花輪スキー場
	クロスカントリー		○	○	○	
	スペシャルジャンプ		○			
	コンバインド	◇		○		
	種目別表彰式		●	●	●	鹿角トレーニングセンターアルバス(アリーナ)

4 役員・監督・選手数 (単位:人)

項 目	役員	監督	選 手			派遣トレーナー 特殊技術 スタッフ等	合 計
			男	女	計		
本 部 役 員	23	—	—	—	—	—	23
スキー	ジャイアントスラローム	—	15	9	24	7	32
	スペシャルジャンプ	—	9	—	9	2	12
	コンバインド	—	9	—	9	4	13
	クロスカントリー	—	12	9	21	9	31
合 計	23	3	45	18	63	22	111

注 スペシャルジャンプとコンバインドに5人が重複登録
実参加者数は合計106名(選手は男40人 女18人 計58人)

II 監督・選手

◇監督 ◆監督(選手兼任)

1 ジャイアントスラローム

監督1 選手24(男15 女9) 計25名
◇大屋 哲平 木曾町スキークラブ

成年男子A
小山 慧 菅平高原スキークラブ

桑原 太陽 日本大学4年

河野 大峨 日本大学1年

成年男子B
堀入 資 (株)長橋商会

中澤駿太郎 菅平高原スキークラブ

千國真偉人 長野県警察機動隊

成年男子C
清水 大 小賀坂スキークラブ

小林晋之介 ゼロワンレーシング

林波 拓夢 乗鞍スキークラブ

成年女子A
切久保 絆 慶應義塾大学2年

南 美優花 野沢温泉スキークラブ

小嶋 咲良 法政大学4年

成年女子B
堀内 祐香 JR東日本長野支社スキークラブ

金井 亜矢 志賀高原スキークラブ

少年男子
保坂 由 長野俊英高校3年

渡辺 悠翔 長野日本大学高校2年

櫻井 光樹 飯山高校2年

北村 一步 白馬高校3年

今井 平和 小諸高校3年

池田 泉太 飯山高校1年

少年女子
澤村 玲奈 松商学園高校2年

笹岡 蒼心 飯山高校3年

湯浅 姫菜 白馬高校2年

Coomber Charlotte 飯山高校3年

2 スペシャルジャンプ

監督1 選手9(男9) 計10名

◇児玉 和興 志賀高原スキークラブ

成年男子A
中村 優斗 COOTS SC

久保田康太郎 中央大学1年

西方 遥人 明治大学1年

少年男子
西澤 希陸 白馬高校1年

杉山 瑠太 野沢温泉中学校3年

富井 孝 飯山高校2年

平岡 典 白馬中学校3年

村山未来翔 飯山城南中学校3年

山崎 輝真 飯山高校1年

3 コンバインド

監督1(スペシャルジャンプと兼任)

選手9(男9) 計10名

◇児玉 和興 志賀高原スキークラブ

成年男子A
久保田康太郎 中央大学1年

横沢 雄咲 日本大学1年

西方 優人 明治大学4年

少年男子
富井 孝 飯山高校2年

山崎 輝真 飯山高校1年

松澤 慶門 飯山高校2年

村山未来翔 飯山城南中学校3年

杉山 瑠太 野沢温泉中学校3年

市川慎一郎 飯山高校2年

4 クロスカントリー

監督1 選手21(男12 女9) 計22名

◇祢津 和利 木島平スキークラブ

成年男子A
笠原 将 日本体育大学4年

池田 和勢 日本大学3年

沼田 唯聖 東洋大学4年

成年男子C
関 真二 関英ドライブイン

5 旗 手 小林 晋之介

(出場種目: ジャイアントスラローム成年男子C)

6 本部役員

役職名	氏 名	所 属
団 長	高橋 信夫	(公財)長野県スキー連盟副会長
総 監 督	山岡 聡子	(公財)長野県スキー連盟常務理事・競技本部長
顧問	北村 正博	(公財)長野県スポーツ協会理事長
〃	中村 宏平	(公財)長野県スポーツ協会専務理事
〃	加藤 浩	(公財)長野県スポーツ協会参与 長野県観光スポーツ部長
〃	北島 隆英	(公財)長野県スポーツ協会参与 長野県観光スポーツ部参事
〃	河野 政己	(公財)長野県スキー連盟専務理事
〃	森 晃	(公財)長野県スキー連盟理事・競技副本部長
スポーツ ドクター	鈴木 尚徳	長野県スポーツドクター協議会 (JA長野厚生連篠ノ井総合病院)
総 務	正木 信安	(公財)長野県スキー連盟理事・競技副本部長
〃	伊東 一雄	(公財)長野県スポーツ協会参事兼事務局長
〃	中出 丈晴	(公財)長野県スキー連盟事務局スノースポーツ振興・広報担当課長
〃	太田ちひろ	(公財)長野県スポーツ協会事務局次長兼地域スポーツ課長
〃	大谷 雅亮	(公財)長野県スポーツ協会競技課長
〃	鹿野恵利子	(公財)長野県スポーツ協会指導主事
〃	新井 優貴	(公財)長野県スポーツ協会主事
〃	松沢 孝明	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興係長
〃	小出 茂樹	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部振興課スポーツ振興係スポーツ指導主事
〃	山田 哲也	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室長
〃	菊池 浩成	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室スポーツ指導主事
〃	土屋 佳吾	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室主事
〃	田中 義一	長野県観光スポーツ部山岳高原観光課総務係主事

7 監 督

種 別	氏 名	所 属
ジャイアントスラローム	大屋 哲平	木曾町スキークラブ
クロスカントリー	祢津 和利	木島平スキークラブ
ジャンプ・コンバインド	児玉 和興	志賀高原スキークラブ

山田 琢也 木島平スキークラブ

野口 蒼継 中野立志館高校(効)

成年女子A
山崎 優風 早稲田大学2年

鎌倉 春音 早稲田大学3年

中島 果歩 早稲田大学3年

成年女子B
小林 千佳 長野日野自動車SC

長野 安那 (一社)木島平観光振興局

少年男子
前田 志颯 飯山高校3年

駒村 隼 飯山高校2年

川邊 暖太 中野立志館高校2年

大山 陽生 中野立志館高校2年

黒岩 佳佑 中野立志館高校2年

前田 令和 飯山高校1年

少年女子
松沢 意 飯山高校3年

高橋幸由実 飯山高校3年

高橋 実菜 飯山高校3年

木内 絢花 飯山城北中学校3年

5 リレー

(フルティック種目エントリー者より選抜)

監督1(クロスカントリー兼任)

選手18(男12 女6) 計19名

◇祢津 和利 木島平スキークラブ

成年男子
笠原 将 日本体育大学4年

池田 和勢 日本大学3年

沼田 唯聖 東洋大学4年

関 真二 関英ドライブイン

山田 哲也 木島平スキークラブ

野口 蒼継 中野立志館高校(効)

少年男子
前田 志颯 飯山高校3年

駒村 隼 飯山高校2年

川邊 暖太 中野立志館高校2年

大山 陽生 中野立志館高校2年

黒岩 佳佑 中野立志館高校2年

前田 令和 飯山高校1年

女 子
山崎 優風 早稲田大学2年

中島 果歩 早稲田大学3年

小林 千佳 長野日野自動車SC

松沢 意 飯山高校3年

高橋 実菜 飯山高校3年

木内 絢花 飯山城北中学校3年

III 派遣トレーナー・特殊技術スタッフ等

(22名)

ジャイアントスラローム
新村 栄司 菅平高原スキークラブ

矢崎 悠喜 白馬高校(効)

山口 達也 山田温泉スキークラブ

田辺 幸汰 菅平高原スキークラブ

塚原 和也 飯山高校(効)

上野 雅之 ヒーローズスキースクール

富井 利一 野沢温泉スキークラブ

スペシャルジャンプ
佐藤 友紀 長野県教職員スキークラブ

北村 耕平 池田工業高校(効)

コンバインド
山田 和由 小谷村スポーツ協会

久保田真一郎 飯山高校(効)

青木 純平 中野立志館高校(効)

秋山 純也 (株)BCF

クロスカントリー
川辺俊一郎 中野士建(効)

高橋幸一郎 飯山高校(効)

市川 昭 野沢温泉スキークラブ

矢崎 正明 菅平高原スキークラブ

堀米 悠佑 志賀高原スキークラブ

池田 裕一 (株)みず精工

宮澤 洋一 小谷村スポーツ協会

山崎 裕 みゆき野整骨院

竹田三津子 くま整形外科リウマチ科クリニック

第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会の成績

長野県優勝者



クロスカントリー10km
成年男子A
笠原 将 選手
(日本体育大学4年)



ジャイアントスラローム
成年男子C
清水 大 選手
(小賀坂スキークラブ)



クロスカントリー5km
成年男子C
関 真二 選手
(関英ドライブイン)



クロスカントリー5km
少年女子
木内 絢花 選手
(飯山城北中学校3年)



クロスカントリーリレー 4×5km

女 子

(左から)

高橋 実奈 選手 (飯山高校3年)
木内 絢花 選手 (飯山城北中学校3年)
山崎 優風 選手 (早稲田大学2年)
小林 千佳 選手 (長野日野自動車SC)

1 大会の概要

開催地	開催期間	派遣選手団	大会成績			
			男女総合	女子総合	順位	順位
秋田県 鹿角市	R7.2.13 ~16	106名	147.5 (参加点10名)	49.0 (参加点10名)	2位	3位
前 回 大 会		110名	143.5	46.0	2位	3位

2 競技会の成績

男女総合(天皇杯)	県名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
		北海道	長野	新潟	秋田	青森	滋賀	岩手	山形
得点	162.0	147.5	136.0	98.0	53.5	51.0	49.0	48.5	
前回大会	北海道	長野	秋田	山形	新潟	青森	富山	岩手	
得点	175.5	143.5	113.5	102.5	99.0	57.5	51.0	40.0	
女子総合(皇后杯)	県名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
		北海道	秋田	長野	新潟	青森	滋賀	岩手	山形
得点	54.0	50.0	49.0	48.0	41.0	28.0	21.0	17.0	
前回大会	秋田	青森	長野	北海道	山形	新潟	滋賀	岩手	
得点	56.0	49.5	46.0	38.0	32.0	29.0	23.0	22.0	

3 成績の推移

	男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)	
	得点	順位	得点	順位
79回大会	147.5	2位	49.0	3位
78回大会	143.5	2位	46.0	3位
特別大会	159.0	2位	64.5	1位
77回大会	138.0	2位	52.0	2位
76回大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止			

4 入賞者数の推移〔下段は少年の部で内数(女子リレー含む)〕

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	計
79回大会	5	4	1	5	2	2	7	4	30
	1	1	1	1	1	0	3	2	10
78回大会	2	8	3	2	2	5	4	9	35
	0	4	2	2	0	2	2	5	17
特別大会	4	8	1	3	4	4	2	6	32
	1	5	1	2	0	3	0	3	15
77回大会	2	6	4	3	4	3	2	2	26
	1	3	3	1	1	3	1	0	13
76回大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止								

5 スキー競技会の入賞者及び得点獲得者

順位	種別	種目	氏名	所属	記録等	得点
1位	成年男子A	クロスカントリー10km	笠原 将	日本体育大学4年	26:33.6	8.0
	成年男子C	ジャイアントスラローム	清水 大	小賀坂スキークラブ	51.42	8.0
	成年男子C	クロスカントリー5km	関 真二	関英ドライブイン	13:33.0	8.0
	少年女子	クロスカントリー5km	木内 絢花	飯山城北中学校3年	15:16.2	8.0
	女 子	クロスカントリーリレー4×5km	木内 絢花 高橋 実奈 山崎 優風 小林 千佳	飯山城北中学校3年 飯山高校3年 早稲田大学2年 長野日野自動車SC	51:51.6	8.0
2位	成年男子B	ジャイアントスラローム	塩入 資	榎長橋商会	51.19	7.0
	成年女子B	クロスカントリー5km	小林 千佳	長野日野自動車SC	14:28.3	7.0
	成年男子A	ジャイアントスラローム	小山 慧	菅平高原スキークラブ	55.42	7.0
	少年男子	クロスカントリーリレー4×10km	川邊 暖太 前田 伶和 駒村 隼 前田 志颯	中野立志館高校2年 飯山高校1年 飯山高校2年 飯山高校3年	1:51:18.1	7.0
	少年男子	ノルディックコンパインド	富井 孝	飯山高校2年	J/86.2 CC/25:27.9	6.0
4位	成年男子C	ジャイアントスラローム	良波 拓夢	乗鞍スキークラブ	52.29	5.0
	成年男子A	スペシャルジャンプ	中村 優斗	COOTS SC	92.3点	5.0
	少年男子	スペシャルジャンプ	西澤 希陸	白馬高校1年	76.6点	☆6.0
	成年男子C	クロスカントリー5km	山田 琢也	木島平スキークラブ	14:22.8	5.0
	成年女子A	ジャイアントスラローム	切久保 絆	慶應義塾大学2年	57.94	5.0
5位	成年女子A	クロスカントリー5km	山崎 優風	早稲田大学2年	15:41.2	4.0
	少年男子	ジャイアントスラローム	渡辺 悠翔	長野日本大学高校2年	59.99	3.5
	成年男子B	ジャイアントスラローム	中澤駿太郎	菅平高原スキークラブ	52.96	3.0
	成年男子	クロスカントリーリレー4×10km	関 真二 笠原 将 沼田 唯聖 池田 和勢	関英ドライブイン 日本体育大学4年 東洋大学4年 日本大学3年	1:45:26.8	3.0
	成年男子A	クロスカントリー10km	沼田 唯聖	東洋大学4年	27:30.1	2.0
7位	成年男子B	ジャイアントスラローム	千國真偉人	長野県警察機動隊	53.06	★
	少年男子	スペシャルジャンプ	杉山 瑠太	野沢温泉中学校3年	63.0点	☆5.0
	成年女子A	クロスカントリー5km	鎌倉 春音	早稲田大学3年	15:53.0	2.0
	少年男子	ノルディックコンパインド	松澤 慶門	飯山高校2年	J/49.5 CC/25:05.1	2.0
	成年男子A	ノルディックコンパインド	久保田康太郎	中央大学1年	J/84.1 CC/24:21.9	2.0
8位	少年女子	クロスカントリー5km	高橋 実奈	飯山高校3年	15:47.4	☆3.0
	少年男子	ノルディックコンパインド	村山未来翔	飯山城南中学校3年	J/61.5 CC/26:47.3	★
	少年女子	ジャイアントスラローム	澤村 玲奈	松商学園高校2年	58.82	1.0
	成年男子A	ジャイアントスラローム	桑原 太陽	日本大学4年	56.74	1.0
	成年女子A	ジャイアントスラローム	小嶋 咲良	法政大学4年	59.87	1.0
9位	少年男子	クロスカントリー10km	前田 志颯	飯山高校3年	28:49.3	☆3.0
10位	少年男子	クロスカントリー10km	駒村 隼	飯山高校2年	28:49.7	☆2.0

☆印は他県8位内3名以上のため繰り上げ得点 ★印は本県8位内3名以上のため得点なし

第79回国民スポーツ大会冬季大会の総合成績

1 大会概要

開催地	開催期間	派遣選手団	大会成績			
			男女総合 得点	順位	女子総合 得点	順位
スケート競技会 群馬県 岡山市	R7.1.26 ~2.5	111名	190.0 (参加点10倉)	2位 (前回1位)	124.0 (参加点10倉)	1位 (前回1位)
アイスホッケー競技会 岡山県 岡山市			40.0 (参加点10倉)	6位 (前回5位)	—	—
スキー競技会 秋田県 鹿角市	R7.2.13 ~16	106名	147.5 (参加点10倉)	2位 (前回2位)	49.0 (参加点10倉)	3位 (前回3位)
第79回国民スポーツ大会冬季大会終了時点			377.5 (参加点30倉)	2位 (前回2位)	173.0 (参加点20倉)	1位 (前回1位)

2 総合成績 (冬季大会終了時点)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
男女総合	北海道長野	群馬県	兵庫県	東京都	青森県	滋賀県	新潟県	
得点	404.0	377.5	196.0	194.0	175.0	163.5	163.0	156.0
前回大会終了時	北海道長野	山形県	東京都	青森県	愛知県	兵庫県	埼玉県	150.0
得点	459.5	382.5	219.5	181.0	180.5	158.0	154.0	150.0
女子総合	長野県	北海道	兵庫県	青森県	愛知県	東京都	滋賀県	山梨県
得点	173.0	152.0	110.0	81.0	77.0	64.0	63.0	
前回大会終了時	長野県	北海道	山形県	青森県	兵庫県	愛知県	東京都	秋田県
得点	142.0	132.0	112.0	105.5	101.0	74.0	68.0	66.0

3 最近の総合成績の推移 (冬季大会終了時点)

	男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)	
	得点	順位	得点	順位
79回大会	377.5	2位	173.0	1位
78回大会	382.5	2位	142.0	1位
特別大会	361.0	2位	165.5	1位
77回大会	402.0	2位	163.0	1位
76回大会	205.0	2位	104.0	1位

※76回大会のスキー競技会は中止

4 競技別順位 (上位8県)

下段は得点

	男女総合				女子総合			
	スケート	アイスホッケー	スキー	スケート	スキー	スケート	スキー	スキー
1位	北海道青森	192.0	65.0	北海道長野	162.0	124.0	北海道	54.0
2位	長野県	190.0	60.0	東京・大阪	147.5	100.0	秋田県	50.0
3位	兵庫県	174.0	—	新潟県	136.0	98.0	北海道長野	49.0
4位	群馬県	148.0	50.0	北海道秋田	98.0	67.0	新潟県	48.0
5位	愛知県	103.0	45.0	神奈川県	53.5	53.0	山梨県	41.0
6位	東京都	102.0	40.0	長野県	51.0	51.0	東京都	28.0
7位	山梨県・滋賀県	82.0	—	岩手県	49.0	49.0	東京都	21.0
8位	—	—	滋賀県	48.5	46.0	17.0	—	—
本県の 前回大会	1位	5位	2位	1位	3位	—	—	—
得点	199.0	40.0	143.5	96.0	46.0	—	—	—

信州やまなみ国スポ・全障スポニュース



パラスポーツ体験イベント 「パラウェーブ広場」を開催しました！

令和7年2月8日(土)にイオンモール松本で「パラウェーブ広場」を開催しました。「パラウェーブ広場」とは、スポーツを通じた共生社会を創造する「パラウェーブNAGANOプロジェクト」の一環として実施する、パラスポーツの体験イベントです。商業施設などにブースを出展し、広く県民の皆さまを対象に気軽にパラスポーツ体験をしていただきます。



今回は、「車いすバスケットボール」「ブラインドフットボール」のパラリンピックでも人気の2種目に加えて、「共生社会」について考えるきっかけとしてほしいという想いから、視覚に障がいのある方への誘導や白杖を使った歩行の体験ができるコーナーも設置しました。

当日は、延べ500人を超える多くの方々にパラスポーツの魅力を体感いただきました。

参加者には、パラウェーブNAGANOオリジナルグッズと併せて「信州やまなみ国スポ・全障スポ」オリジナル缶バッジをお渡しし、2028年に開催される大会の広報活動も行いました。



パラウェーブNAGANOでは、引き続きスポーツを通じて、互いを尊重し支え合う「共生社会」づくりの推進をしていくとともに、2028年に開催される「信州やまなみ国スポ・全障スポ」に向けた気運醸成にも取り組んでいきます。



会議報告

令和6年度 第3回総務専門委員会 第3回理事会

〔令和7年1月21日(火)〕

第3回総務専門委員会に引き続き第3回理事会が開催され、議案が承認されました。



【協議事項】

- 1 令和7年度競技力向上対策基本方針について
- 2 第79回国民スポーツ大会冬季大会長野県選手団について
- 3 令和6年度スポーツ振興功績者表彰について
- 4 令和6年度加盟競技団体ガバナンスコード適合性審査の結果について
- 5 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規則の一部改正及び臨時評議員会の開催について
- 6 第82回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ実施競技に係る推薦について

【報告事項】

- 1 第78回国民スポーツ大会について
 - 2 第46回北信越国民スポーツ大会について
 - 3 SWANプロジェクト16期生について
 - 4 令和6年度補正予算の専決処分について
- #### 【その他】
- 1 賛助会員の状況について
 - 2 第3次長野県スポーツ推進計画の改定について
 - 3 中学校運動部活動の地域移行の進捗状況について
 - 4 今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議について
 - 5 今後の日程等について

令和6年度 第2回長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会・研修会

〔令和7年2月21日(金)〕

令和7年2月21日(金)松本合同庁舎講堂において、令和6年度第2回長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会・研修会が開催されました。

各地区常任幹事からの令和6年度各ブロックの活動報告に続いて、本協議会幹事長 小崎 陽一郎 氏（特定非営利活動法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ 専務理事）から「北信越ブロッククラブネットワークアクション2024」について報告があり、その後、総合型地域スポーツクラブ「登録・認証制度」について、事務局から説明がありました。

協議事項においては、令和6年度事業中間報告、令和7年度事業計画（素案）について承認されました。

引き続き行われた研修会においては、一般財団法人どんぐり財団 代表理事 関口 昌和 氏（テーマ「これからの時代に求められる『総合型地域スポーツクラブ』とは」）とFirst Penguins Company 代表取締役 川崎 大 氏（テーマ「【BUKATOOL】を活用した活動費管理のデジタル化」）か

ら、それぞれご講演いただきました。関口氏には「人材育成」や「部活動地域展開における総合型クラブとしての関わり方」を中心に、川崎氏からは「指導者が抱えている部活動の諸課題」を踏まえ、取組をご提示いただきました。

お二人の講師から多くの視点や事例等をご教示いただき、大変充実した研修会となりました。

（今回はその他、新たな試みとして民間企業2社（Alpen Group、明治安田生命保険）から、スポーツ団体への支援事業をご紹介いただきました。）

当日はWEB出席を含め、県内総合型地域スポーツクラブ関係者及び市町村・県スポーツ振興担当者等、約80名にご参加いただきました。地域スポーツ環境が目まぐるしく変化し、総



合型クラブがその課題解決の一助としての期待が醸成される昨今、出席者からは県内総合型クラブの一体感や県協議会、地区協議会の更なる充実を望むご意見もあり、次年度に向けた展望を描くことができました。

本総会・研修会並びに今年度の協議会事業にご協力いただきました全ての皆様に感謝を申し上げますとともに、今後も多方面から県内クラブへのご支援を賜りますよう、引き続きよろしくお願いいたします。

＜令和5・6年度 長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会＞

- 【役員】 幹事長 小崎陽一郎（特定非営利活動法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ）
副幹事長 辺見 元孝（一般社団法人木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ）
常任幹事 土屋 岳（岸野スポーツクラブ）
常任幹事 水野 隆夫（NPO法人リュシオススポーツクラブ）
常任幹事 日井 良臣（安曇野総合型地域スポーツクラブ スポネット常念）
常任幹事 大宮 真実（中野スマイルスポーツクラブ）



SWAN

プロジェクト

Superb Winter Athlete NAGANO

SWAN2024-2025 主な成績

全国大会で活躍する現役メンバー！

	期	氏 名	種 目	大 会 名	場 所	順位	学年
クロスカントリー	12期生	宮村連汰良	5.0kmフリー	全国中学校スキー大会	野沢温泉スキー場	8位	中3
		金井 鳳世	3.0kmフリー	全国中学校スキー大会	野沢温泉スキー場	10位	中2
	13期生	山田 柚野	3.0kmクラシカル	全国中学校スキー大会	野沢温泉スキー場	3位	中2
			3.0kmフリー			4位	
	14期生	斉藤 隆希	5.0kmクラシカル	全国中学校スキー大会	野沢温泉スキー場	7位	中2
			5.0kmフリー			4位	
カーリング	14期生	宮崎 玄	カーリング	全日本小学生カーリング選手権大会	横浜銀行アイスアリーナ	5位	小6

世界で活躍する修了生！

	期	氏 名	種 目	大 会 名	会 場	順位
スピードスケート	5期生	高橋 侑花	3000m	Asian Winter Games	ハルビン(中国)	8位
アルペン	6期生	渡邊 愛蓮	SL	Asian Winter Games	ハルビン(中国)	3位
			SL	World University Games	バルドネツキア(イタリア)	9位
フリースタイル スキー	2期生	富高日向子	MO	World Cup	ディアバレー(アメリカ)	5位
			DM		ヴァル・サン・コム(カナダ)	7位
			DM		ウオータービル(アメリカ)	6位
			MO			8位
	5期生	近藤 心音	SS	World Cup	ラークス(スイス)	5位
			SS		ストーンハム(カナダ)	4位
	6期生	笹岡 蒼空	SX	World University Games	バルドネツキア(イタリア)	2位
	7期生	伊藤 真凜	MO	World Cup	ディアバレー(アメリカ)	7位
			DM	World University Games	バルドネツキア(イタリア)	3位
リュージュ	5期生	小林 誠也	1人乗り	Asian Luge Championship	ピョンチャン(韓国)	1位



スポーツ少年団

nagano
junior sports
clubs association

令和6年度 長野県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール

3月1日(土)～2日(日)に、長野市のアソビーバナガノパークでジュニア・リーダースクールが開催されました。

団員及び運営員等20人が参加し、アクティブ・チャイルド・プログラムの実技やリーダー会の活動などの報告を通じ、スポーツ少年団の役割と集団での行動やリーダーとしての姿勢などを学んだほか、リーダー同士の交流を深めました。



令和6年度 公認スポーツ指導者等表彰

公益財団法人日本スポーツ協会は、特に顕著な功績があったスポーツ指導者を表彰しています。

本年度は当協会加盟団体から推薦のあった方を当協会から公益財団法人日本スポーツ協会に推薦し、その結果、次の方が表彰されました。

氏 名	資 格	推薦団体
我山 千枝子	なぎなたコーチ3	長野県なぎなた連盟

加盟団体の紹介

飯水スポーツ協会

「飯水だからできること!!」

飯水スポーツ協会は、昭和61年5月に「市村体育協会と連携を保ち、住民の体育を指導奨励し、住民の体力向上を図る」ことを目的に設立されました。現在は飯山市スポーツ協会16団体・さかえスポーツクラブ8団体の計24団体が、長野県の最北端の自然豊かな地域で活動しています。

飯水地域は、豪雪地帯ということもあり、スキーやスノーボードなどウィンタースポーツが特に盛んで、小さい頃から親しみ、地域からはオリンピックも輩出しています。

この地域でもご多分に漏れず少子高齢化が進んでおりますが、ウィンタースポーツの他にも陸上、バレーボール、野球、ゲートボール、東京オリンピックに採用され人気の出たスケートボードなど、多種多様なスポーツで子供からお年寄りまでが楽しんで活動しています。

飯水スポーツ協会全体としての活動は、年1回開催している研修会です。



令和6年度はストレッチ講座を開催し、「腰が痛い」「肩が痛い」「足が・・・」という声を反映して、講師の先生にそれぞれに合ったストレッチを教えて頂きました。

その他にも、オリンピックを迎えるの講演会だったり、ヨガ、ニュースポーツ等で汗を流したり、皆で和気あいあいと活動し、その後の懇親会ではより一層親睦を深められています。

また、重点事業に掲げている長野県縦断駅伝では、人口の少ないこの地域からメンバーを揃えて出場しており、

とても素晴らしいことだと感じています。一年を通して小学生からベテランまで一緒に練習に励んでおり、地域をあげて応援しています。抜群のチームワークで上位入賞を目指して頑張っているため、毎年協会役員も応援に駆けつけています。

急務となっております中学校の部活動地域移行では、飯山市と栄村に近隣の野沢温泉村と木島平村も加わり岳北地区として4市村での取り組みが始まっています。

当協会も子供たちが、地域の垣根を超えて自分のやりたい種目に参加できるようお手伝いできればと考えています。

今後も、飯水スポーツ協会だからできることを考え、スポーツを通じて飯山と栄が共に手をたずさえて地域を盛り上げていけるような活動をしていきます。

(事務局 中村直美)



公益財団法人 長野県スポーツ協会

パートナー企業・団体の皆様

PLATINUM PARTNERS
プラチナパートナー

北野建設

八十二銀行

HOKUO

GOLD PARTNERS
ゴールドパートナー

長野信用金庫

MANATEC

ライオンズクラブ国際協会
334-E地区

SILVER PARTNERS
シルバーパートナー

NiKKi Fron
Since 1896

一般社団法人
長野県消防設備協会

総合印刷センター
株式会社 信光社

「県スポだより」は、本会ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.nagano-sports.or.jp/tayori/index.html>

